

ワークシート・資料編

1 ワークシート

(1) ワークシート例

- ① 選択した資料の時代と何についての資料か、簡単に説明しよう。

資料番号 _____ 時代： _____ 時代

内容の説明：

- ② 遺跡・資料周辺の箇所の土地利用や立地条件の変化をまとめよう。

- ③ ハザードマップから、この地域で予想される災害と遺跡との関連を考察しよう。

- ④ 遺跡付近で予想される災害を防ぐ手だてを考察しよう

【まとめ・振り返り】

(2) 解答例

① 選択した資料の時代と何についての資料か、簡単に説明しよう。

資料番号 1 時代： 江戸 時代

内容の説明：安城が原（現在のJR安城駅周辺）の土地利用を示している。山や畑が主であり、田はため池の周辺にみられる

資料番号 2 時代： 古墳 時代

内容の説明：安城市における古墳の分布図であり、現在の桜井周辺に古墳が集まっている

資料番号 3 時代： 江戸 時代

内容の説明：現在の西尾市岡山と瀬戸付近にあった鑑池付近の田畑紛争に関わる古地図

資料番号 4 時代： 平安 時代

内容の説明：799年（延暦18）、崑崙人（自らを天竺人という）が流れ着き、綿の種を伝えたという『日本後紀』の話

② 遺跡・資料周辺の箇所の土地利用や立地条件の変化をまとめよう。

資料番号 1 台地上に位置するこの範囲は、現在では市街地が広がる。かつてあったため池はほとんどが姿を消した。周辺部には田がみられるが、明治用水を利用して耕作していると考えられる。

資料番号 2 台地の上を中心に住宅地が広がり、川沿いには水田がみられる。二子古墳や姫小川古墳は台地と平野の境の台地側に位置している。

資料番号 3 山間の須美川に合流する川沿いの低地に位置し、現在では池は失われた。主な土地利用は水田である。

資料番号 4 神社周辺は氾濫で形成された低地であり、主な土地利用は水田である。神社や集落は自然堤防上に位置する。

③ ハザードマップから、この地域で予想される災害と遺跡との関連を考察しよう。

資料番号 1 水害において、多くの場所では被害は予想されていない。しかし、場所によっては0.5m未満の浸水深が想定される。これらの地域は、古地図中の池のあった場所と考えられる。

資料番号 2 水害において、川沿いでは5～10mの、台地上では0.5～3mの浸水が想定される。古墳群は、浸水被害の境目の被害の少ない方に立地している。

資料番号 3 池のあった場所は、周囲の山から水が集まる谷に位置するため、水害では0.5～3mの浸水が想定される。

資料番号 4 津波の際に、神社の南に位置する道路付近まで～0.3mの浸水が想定される。神社は被害が及ばない場所に立地している。

④ 遺跡付近で予想される災害を防ぐ手だてを考察しよう

資料番号 1 排水能力を高める対策を行う。浸水が予想される場所に建物を建てない。

資料番号 2, 3 堤防を強化する。排水能力を高める工夫をする。浸水が予想される場所に建物を建てない。

資料番号 4 堤防を強化する。ハザードを把握し、地震が起きたら「より早く、より高い場所へ避難」するよう心がける。

2 資料

(1) 古地図・資料

○資料1 天明7年の安城が原土地利用図

(『新編 安城市史 2 通史編 近世』(2007) に加筆)

『新編 安城市史 2 通史編 近世』328-329 ページ 図4-15

地図中の地名「花の木」を四角で囲む

○資料2 安城市における古墳の分布(『新編 安城市史 10 資料編 考古』(2004) より)

『新編 安城市史 10 資料編 考古』239 ページ 主要遺跡分布図

○資料3 西尾市鎧ヶ淵について(『新編 西尾市史 資料編3 近世1』(2020) より)

『新編 西尾市史 資料編3 近世1』口絵 図版16 鎧池争論幕府裁許絵図

○資料4 西尾市天竹神社に関すると思われる資料(『新編 西尾市史 資料編2 古代・中世』(2019) より)

延暦十八年(七九九)

○七月 参河国に崑崙人が漂着し、綿の種を伝える。

六四〔日本後紀〕延暦十八年七月是月条

是月、有二人、乘小船、漂着参河国、以布覆背、有犢鼻、不着袴、左肩着紺布、形似袈裟、年可廿、身長五尺五分、耳長三寸余、言語不通、不知何国人、大唐人等見之、僉曰、崑崙人、後頗習中国語、自謂天竺人、常弹弦琴、歌声哀禁、聞其資物、有如下草实者、上、謂之綿種、(以下略)

(2) 地理院地図の場所

○資料 1

<https://maps.gsi.go.jp/#15/34.952426/137.080407/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

○資料 2

<https://maps.gsi.go.jp/#15/34.921390/137.096157/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

○資料 3

<https://maps.gsi.go.jp/#18/34.849419/137.091984/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

○資料 4

<https://maps.gsi.go.jp/#18/34.830846/137.059527/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

3 参考文献

- ・『新編 安城市史 10 資料編 考古』（安城市史編集委員会編，安城市，2004年）
- ・『新編 安城市史 6 資料編 近世』（安城市史編集委員会編，安城市，2005年）
- ・『新編 安城市史 2 通史編 近世』（安城市史編集委員会編，安城市，2007年）
- ・『新編 西尾市史 資料編 2 古代・中世』（新編西尾市史編さん委員会編，西尾市，2019年）
- ・『新編 西尾市史 資料編 3 近世 1』（新編西尾市史編さん委員会編，西尾市，2020年）

- ・「安城市水害ハザードマップ」

<https://www.city.anjo.aichi.jp/kurasu/bosaibohan/yakudachi/hazardmap/index.html>

- ・「地理院地図」 <https://maps.gsi.go.jp/>

- ・「安城市安城が原」

<https://maps.gsi.go.jp/#15/34.952426/137.080407/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

- ・「安城市古墳の分布（桜井周辺）」

<https://maps.gsi.go.jp/#15/34.921390/137.096157/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

- ・「西尾市鑑ヶ淵」

<https://maps.gsi.go.jp/#18/34.849419/137.091984/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

- ・「西尾市天竹神社」

<https://maps.gsi.go.jp/#18/34.830846/137.059527/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

安城市安城が原	安城市古墳の分布	西尾市鑑ヶ淵	西尾市天竹神社
			

- ・「ハザードマップポータルサイト」 <https://disaportal.gsi.go.jp/>